



ドリアス

富山県

NO.38 2006年1月

# 中央植物園だより



ウメ *Prunus mume* Siebold et Zucc. 早春とはいってもまだ寒さがきびしい中、凛とした花を咲かせる。中国原産のバラ科の落葉樹。「万葉集」にはウメを詠んだ歌が118首もあり、当時すでに観賞用に植えられていたらしい。その後、江戸時代には園芸ブームにともない栽培が盛んになった。花を観賞するだけでなく、果実を梅干や梅酒、漢方薬、染色の媒染などに利用する。いっぽう数米ではウメは人気がなく、文学や美術にもほとんど出てこないという。植物園のサクラ・ウメ園には47品種93本のウメが植栽されており、2月下旬から本格的な見ごろとなる。写真は富山市内にある内山邸の白梅。

撮影/浅井良夫さん(平成17年度私の植物写真展応募作品)

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

## 第34回 富山県蘭まつり大会

新春を迎えると、各地で開催されるラン展のニュースを目にする機会が増えます。この季節の温室は外の厳しい寒さとは対照的に、たくさんの華やかなランの花によって彩られます。

富山県中央植物園では昨年に引き続き、3月3日(金)～5日(日)に富山県蘭協会との共催で「第34回富山県蘭まつり大会」を開催します。園内のサンライトホールとドリラスホールで、富山県蘭協会の会員をはじめ北陸3県の愛好家が日頃より丹精をこめて栽培した約400株のランを展示します。カトレヤやコチョウランなど華やかな洋ランやシュンランなど東洋ランのほか、ランを使った生け花も出品されます。

また、今回は特別展示として、パフィオペディラム

の育種家として知られていた水戸徳川家十四代当主徳川圀吉氏が収集・栽培していたパフィオペディラムの一部を、「高森町蘭ミュージアム」と「千葉大学・環境健康フィールドセンター」のご協力により展示することになりました。

ランは植物の中では最も種類が多く、野生種だけでも2万種とも2万5千種とも言われています。このラン展を通して、ランの多様性を垣間見られてはいかがでしょうか。

会場ではランの即売会を行うほか、3月4日(土)と5日(日)には午前と午後の2回、研修室においてランの栽培講習会も行います。



今回の蘭まつりで特別に展示される水戸徳川家十四代当主 徳川圀吉氏によるパフィオペディラム *Paphiopedilum* のコレクション



バルボフィラム・デアレイ *Bulbophyllum dearei*



カトレヤ・ポーシャ・カニザロ *Cattleya Porcia 'Canizaro'*



デンドロビウム・ウィリアムソニー *Dendrobium williamsonii*



ファレノプシス・アフロディーテ *Phalaenopsis aphrodite*



ジゴペタラム・クリニタム *Zygopetalum crinitum*



マスデバリア・コッパーエンジェル・オレンジサンセット *Masdevallia Copper Angel 'Orange Sunset'*

## 研究紹介◎野生ギクの保全に関わる外来種問題

副主幹研究員 中田 政司

植物園だよりの18号(2001年1・2・3号)で、園芸菊との交雑によって野生ギクが雑種化し、絶滅のおそれが生じていることを氷見市のサンインギクの例で紹介しました。ところが最近、野生ギクの保全に関してもう一つ懸念される事態が起こってきました。それは外来キク属の問題です。

ノリ面緑化に使われるヨモギやメドハギ、ハギなどの種子は1985年ころから韓国や中国から輸入されたものが使われるようになりました。その結果、中国産のヨモギ属やマメ科植物などに混じって外来のキクタニギクやイワギク、シマカンギクなどが道路ノリ面で発見されるようになったのです。キクタニギクは東北南部、関東、近畿、九州北部などに、シマカンギク(4倍体・6倍体)は西日本の各地にそれぞれ自生もしていますが、従来日本のキク属は分布域を権み分けていて、分布の接点以外で混生することはありません。それで局所的には自然交雑が起こっても、全体として雑種形成による種の崩壊は避けられてきたのです。ところがノリ面緑化による外来キク属は、在来キク属の分布域内に唐突に出現します。

写真1は愛媛県の例ですが、ノジギクの分布域中に、遠くからでも黄色く目立つキクの大群落を確認され、

形態的特徴から中国産のシマカンギクの一型ハイシマカンギクと考えられました。さらに現地を観察すると、実際にノジギクとの雑種と考えられる個体もいくつか発見されています。外来キク属はすでに13都府県で見つかっており、全国的な様相を呈しています。分布実態を把握するための調査が必要です。

富山県では、1994年に立山町の林道で外来キクタニギクが初めて発見されましたが、その後も旧大山町、庄川町、八尾町、上平村など各地で見つかっています。もともと富山にはキクタニギクは分布せず、リュウノウギクという白花の野生ギクが自生していたのですが、両種とも染色体数が同じ18本であることから、接近して生えていると容易に雑種が生じます。

昨年の11月、旧細入村檜原の林道で地元の方がキクタニギクを一株発見しました(写真2)。現地を調査するとその場所からわずか300mほどの崖にはリュウノウギクの大集団がありました。交雑を防ぐため写真の株は伐根除去しましたが、すでに花粉が運ばれてしまったかもしれません。今後、現地のリュウノウギクに雑種が生じてないか注意深く観察する必要があります。



写真1. 愛媛県で発見された外来シマカンギクの大群落(黄色)



写真2. 富山県旧細入村で発見された外来キクタニギク

### 植物園 トピックス

#### ■フローラルステージが完成

園内の「花のプロムナード」に、ステージ付き花壇(愛称「フローラルステージ」)が完成し、昨年10月15日に完成記念イベントが行われました。

この花壇は、野外コンサートや結婚式などのイベントに活用され、植物園の一層の賑わいを創出することを目的として整備されたものです。広さは230㎡で、うちステージ部分は50㎡。ステージの周囲は四季折々の花で彩られます。

完成記念イベントは午前10時から、雨天のため会場をサンライトホールに移して行われました。はじめに内村園長が

「さまざまなイベントに活用してください」とあいさつ。続いて地元の装幼稚園の園児による鼓笛隊演奏、ピノキオ保育園の園児による和太鼓演奏が披露され、会場を訪れた園児の家族や一般の来園者は元気いっぱいの演奏を楽しんでいました。その後、月下美人などの苗が当たる抽選会や地元テレビ局によるキャラクターショーが行われました。

なお、フローラルステージの利用については、植物園(電話 076-466-4187)までお問い合わせください。



上:園内の花のプロムナードに整備されたフローラルステージ  
右:10月15日に行われた完成記念イベントの様子



## これからが見ごろの植物

### ソシンロウバイ

*Chimonanthus praecox* 'Concolor'

ロウバイは漢字で「臘梅」と書き、早春に蜜蝋を思わせる黄色の花をつけます。中国原産の落葉低木で、ウメの仲間ではなくロウバイ科。ロウバイ科は2~3属からなる小さな科で、モクレン科などと同じ「木本性多心皮類」に分類されます。

ふつうのロウバイでは内側の花びら(内花被片)が暗紫色になりますが、ソシンロウバイは内花被片も黄色になる園芸品種。園内では、「香りの植物」エリアで1月下旬から咲き始めます。まだまだ寒い日が続きますが、季節は着実に春に向かっていくことを告げてくれます。(主任 高橋一臣)



## 催し物のご案内

### ■サンライトホール展示

企画展「干支にちなんだ植物展」  
2月1日(水)まで

企画展「平成17年度 研究発表展」  
2月3日(金)~3月1日(水)  
同時開催「絶滅危惧植物展」  
2月3日(金)~4月19日(水)

第34回 富山県蘭まつり大会  
3月3日(金)~3月5日(日)



第11回 私の植物画展  
3月7日(火)~3月29日(水)

### ■観察会・講座・講習会

電子顕微鏡で植物を観察しよう

◆要申込  
1月15日(日) 13:00~16:00  
場所/実習室ほか  
定員/12名 参加費/無料

デジカメ講座 花を撮ろう

◆要申込  
2月4日(土) 10:00~15:30  
場所/園内・富山県ITセンター  
定員/16組 参加費/無料  
※この行事の申込方法は、富山県ITセンター情報工房施設(TEL 076-444-7867)までお問合せください。

平成17年度研究発表会

2月5日(日) 13:00~16:00  
場所/研修室 参加費/無料

### ■月例行事

日曜植物案内  
2月5日(日)・3月19日(日)

11:00~12:00  
集合場所/サンライトホール  
参加費/入園料が必要

◆要申込 このマークの講座・講習は事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「往復はがき」で受け付けています。

## 植物園であそぼう!

文部科学省がすすめる“地域子ども教室推進事業”の一環として、植物園では小・中学生を対象にしたイベントを開催しています。

### ■1月下旬~3月のスケジュール

電子顕微鏡で植物を観察しよう

1月21日(土) 10:00~11:00

1月22日(日) 13:00~14:00

雪の植物園を探検しよう

1月28日(土) 10:00~11:00

1月29日(日) 13:00~14:00

デジカメでランを撮ろう

2月11日(土・祝) 10:00~11:00

2月12日(日) 13:00~14:00

2月18日(土) 10:00~11:00

2月19日(日) 13:00~14:00

冬の草花あそび

2月25日(土) 10:00~11:00

2月26日(日) 13:00~14:00

3月11日(土) 10:00~11:00

3月12日(日) 13:00~14:00

熱帯の果物を育てよう

3月18日(土) 10:00~11:00

3月19日(日) 13:00~14:00

3月21日(火・祝) 13:00~14:00

電子顕微鏡で植物を観察しよう

3月25日(土) 10:00~11:00

3月26日(日) 13:00~14:00

■対象 小学生、中学生(ご兄弟、親子でも参加できます)  
■申込 各イベントの開催1週間前までにお電話で申し込みください。

■問合せ・申込先 富山県中央植物園  
TEL 076-466-4187

## 私の植物画展 作品募集のお知らせ

富山県中央植物園では、「第11回 私の植物画展」(3月7日~29日)に展示する植物画の作品を募集しています。

### ■作品

科学的に正確な精密画で、透明水彩絵具で彩色したもの、あるいは墨入れした線画。/大きさはA3サイズ(297mm×420mm)以下。/原則として1人1点。※類稿の必要はありません

### ■応募方法

・作品の裏面に以下の事項を記入し、植物園まで持参または送付してください。

①氏名、②描いた植物名、③完成年月日、④住所、⑤電話番号

・郵便での返送をご希望の方は郵便切手を添えてお申送ください。また着払い宅配便での返送をご希望の方はその旨お知らせください。

■締切り 平成18年2月20日(月)

## 友の会会員募集中!

■特典 会員証を示しサインするだけで入園できます。/会報や植物園だよりが送られてきます。/多彩な友の会の行事に参加できます。/印刷物を割引で購入できます。

■会費 年額3,000円。5月以降、新規に加入される方は初年度会費の割引を受けられます。

■入会方法 植物園の入園窓口で随時受け付けています。

■有効期間 ご入会の日から翌年の3月31日まで。

■問合せ先 富山県中央植物園友の会事務局 TEL 076-466-4187

## 富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00~17:00 (入園は16:30まで)  
(11月~1月は9:00~16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日、年末年始(12月28日~1月4日)  
入園料 大人(一般および大学生) 600円  
団体料金(20名以上) 480円  
高校生以下無料

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ経由新の島循環」に乗車し「中央植物園」停留所下車、徒歩約8分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分